

令和 6 (2024) 年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	考古資料研究				
担当教員	林部 均				
授業概要	考古学で扱う遺跡・遺構・遺物—とくに古代を中心として—を具体的に取り上げて、その資料のもつ特質を明らかにし、資料のもつ可能性について解説する。さらに、考古学の方法論や隣接分野とのかかわりについても触れる。				
教育目標・目的	発掘調査でみつかると遺構・遺物のもつ資料としての特性とその限界を理解する。それらを正しく理解することにより、考古学の方法論による歴史像の組み立て方を学ぶ。また、考古学に軸足を置いた隣接分野とのかかわり(可能性と限界)について学ぶ。				
成績評価	授業への参加(50%)、レポートの提出(50%)				
授業計画	1. 考古学資料論 総論	9. 遺物をどのように解釈するか(3)			
	2. 遺構をどのように解釈するか(1)	10. 遺物をどのように解釈するか(4)			
	3. 遺構をどのように解釈するか(2)	11. 遺物をどのように解釈するか(5)			
	4. 遺構をどのように解釈するか(3)	12. 考古資料と隣接分野(1)			
	5. 遺構をどのように解釈するか(4)	13. 考古資料と隣接分野(2)			
	6. 遺構をどのように解釈するか(5)	14. 考古学の可能性と限界(1)			
	7. 遺物をどのように解釈するか(1)	15. 考古学の可能性と限界(2)			
	8. 遺物をどのように解釈するか(2)				
実施場所		使用言語	日本語		
前期・後期の別	前期	対象年次	3, 4, 5	単位数	2単位
教科書・参考図書	授業のときに指示する。				
備考	学部・修士課程で、考古学概論、考古学実習を履修していることを前提に授業を進める。				